



Weekly Bulletin

The Magic of Rotary

ロータリーのマジック

国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

静岡ロータリークラブ ●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール プレートカイ TEL.273-5225
●会長／川辺 哲 ●副会長／児玉 俊明 ●幹事／横山 泰久 ●副幹事／川崎 裕司

2024-2025 6月30日 ☁ 第3743回例会

創立90周年記念例会



●会長挨拶●

会長 川辺 哲様

本日は、ロータリー年度の大晦日という大切な日にもかかわらず、皆様、ご遠方より「静岡ロータリークラブ創立90周年記念例会」に御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。当初は一週間前を予定しておりましたが、世界大会とぶつかることが分かり、甚だ勝手ながら本日に設定させていただいた次第です。ご迷惑をおかけしていることと思いますが、この場をお借りしてお

詫び申し上げます。このあとのビデオにありますが、当クラブの90年には、敗戦の歴史がはめ込まれております。「戦後」という苦難の時代を乗り越えて、クラブを再興し、現在に至らせたメンバーの不屈の精神と情熱には、改めて驚きと敬意を感じざるを得ません。「90年の歴史を超えて、100周年に向かうチャレンジ精神の源泉はここにあり!」と、改めて思う次第です。更に忘れてはならないのは、静岡ロータリークラブの歴史は、過去90年にわたる皆様の御

支援がなければ、為しえなかった事です。改めて感謝申し上げます。去る2月と6月の当クラブの卓話の時間に、長老格のメンバーと中堅のメンバー、それぞれ5～6人に登壇していただいて「当クラブの強みと、100周年に向けての課題」を語っていただきました。その中で、印象に残っております事を申し上げます。当クラブには大企業の支店長さんが多数おられ、最近はかなり異動が激しいですが、地元メンバーとの壁は一切なく、親睦が定着しております。先程のパネルディスカッションの中で、「昨年度の「支店長の幹事」は成功した。(平尾年度の番匠幹事のことです。)100周年までに「支店長の会長」にもチャレンジしよう!」という声があがったのです。一方、課題としてあげられましたのは、特に女性メンバーからありますが、「ロータリークラブの特長を活かして、奉仕活動のブラッシュアップをしたい。それが会員増強に繋がるはず。」という声でありました。世の中が、国際的なパワーバランスの変化、AIに象徴されるIT技術の進化、国内の少子高齢化の進行等により、不確実な世界に入りつつあるなかで、世界レベルでロータリークラブの会員総数が減少しつつあるという事実を前にして、問題を直視し、この流れに歯止めを掛けるためには、「新しい奉仕と親睦の理念」を実現するためには、努力が必要であると思います。私共は、「伝統と格式」のあるクラブの良さを維持しつつ、「先進性」を持って、100周年に向けて新しい理念の形成と実現にチャレンジして参る所存でございます。引き続き、皆様の御支援・御鞭撻を宜しくお願い申し上げます。「温故知新」という言葉がございますが、本日は、当クラブの過去90年の活動を振り返り、100周年に向けて再出発をするための音楽コンサートを企画いたしました。お楽しみ戴ければ幸いです。本日の記念例会に御出席くださいますと、誠にありがとうございました。

●来賓祝辞●

国際ロータリー第2620地区

ガバナー 小泉 久司様

皆様こんにちは。当地区ガバナーの小泉久司です。本日の例会が私にとって最後の公式行事となります。静岡ロータリークラブ創立90周年、誠にめでたうございます。これまで90年にわたり、地域はもとより、タイ・フィリピン・台湾など国際社会への貢献も続けられてきた活動に、深く敬意を表します。昨年7月の公式訪問では、支援学校での秋祭り支援、ポリオ募金活動、青少年奉仕事業など、多くの地域密着型活動をお聞きました。どれも公共イメージの向上に大きく寄与しており、素晴らしい取組だと感じました。川辺会長は、本年度を「大企業の支店長や各界のトップの方々の人間力や知見を共有財産とし、新たなロータリー像を考える出発点」と位置付けられました。伝統に先進性を加え、楽しく充実した一年を目指す姿勢に強く共感いたしました。この90年の歩みが次世代へと継承され、貴クラブが当地区の模範となり続けることを願っております。また、国際ロータリーが掲げる3年間の中長期目標の達成に向けて、クラブ行動計画の継続的な実践を期待いたします。改めまして、90周年の節目に心よりお祝いを申し上げますとともに、今後のご発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。本日は誠にありがとうございました。

東京ロータリークラブ 会長 亀谷 太郎様

東京ロータリークラブ会長の亀谷です。本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。静岡ロータリークラブ創立90周年、心よりお祝い申し上げます。1935年に横浜ロータリークラブをスポンサーに創立され、1950年の再建時には当クラブが支援を行いました。1940年代には戦争の影響でロータリー活動

が困難となり、1940年8月8日には静岡クラブが全国に先駆けて解散。その後、木曜会として活動を継続されました。戦後は1949年に正式に復帰し、当クラブの小林会長が創立総会に立ち会わせていただきました。戦争や災害、紛争が続く現代においても、「奉仕の理念」と「倫理的行動指針＝四つのテスト」は非常に重要です。貴クラブが地域において力強い活動を続けてこられたことに敬意を表します。100周年に向け、引き続き歴史と伝統を大切にしながら、より充実した活動を展開されることをお祈り申し上げます。東京ロータリークラブを代表し、創立90周年への心からのお祝いとさせていただきます。誠にありがとうございます。

●祝電披露●

静岡ロータリークラブ元会員、住友商事株式会社元静岡支店長 五十川 和彦様より
静岡ロータリークラブ会長 川辺哲様、創立90周年記念式典の開催、誠にありがとうございます。歴代会長等をはじめ、会員の皆様の長年にわたるご努力に敬意を捧げ、心よりお喜び申し上げますとともに、伝統と格式のある静岡ロータリークラブのますますのご隆盛を記念申し上げます。

●寄付金の贈呈●

公益財団法人米山梅吉記念館理事長
松村 友吉 様への贈呈
本日はありがとうございます。私も近隣のクラブの会員としまして、この静岡ロータリークラブさんがますます力強いリーダーシップを発揮されることを祈念しております。記念館の理事長といたしましては、たまたま先輩の理事が急に辞表を出されたため、理事になり、その後理事長を拝命しております。悪戦苦闘しておりますが、ぜひこれからもご支援をよろしくお願い

いたします。本日はおめでとうございます。

●記念事業の説明●

90周年実行委員長の久保田です。本日の記念コンサートについてご説明いたします。当クラブには90年の歴史を見てこられた大先輩が2名おられます。本日はご欠席ですが祝賀会には出席予定です。私自身もその3分の2は見てきたつもりです。この長い歴史をどのように表現するか悩んだ末、会長が音楽業界でご活躍であることに着目し、「音楽で90年を振り返る」構成にいたしました。音楽は時代を超えて人をつなぐ存在です。戦争や災害、オリンピック、万博など様々な出来事があった中で、その時代を最も強く思い出させてくれるのが歌や音楽だと考えました。そこで、90年を10年ごとに分けた映像と、その時代を象徴する音楽を組み合わせました。アレンジはジョナサン・カッツ氏に依頼し、クラシックとジャズの両面から構成しています。演奏は富士山静岡交響楽団、歌は静岡が誇るウィリアムス浩子さんです。皆様の歩んできた人生と静岡の音楽の歴史を重ねながら、今日のコンサートをお楽しみいただければ幸いです。

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数※)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
6/30	107名	84名	23名	78.58%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

